

三井小学校 教育目標及び教育方針

1 教育目標

『自ら考えよく学ぶ、心豊かでたくましい子の育成』

2 めざす児童像

◇自ら考えよく学ぶ子〈知〉 ◇心豊かな子〈徳〉 ◇たくましい子〈体〉

3 めざす学校像

- ◇児童一人一人が挑戦し感動を通してはつらつと個性を発揮することのできる学校
- ◇保護者や地域住民が安心して通わせたいと思う学校
- ◇児童や保護者、教職員が愛着と誇りをもてる学校

4 学校経営の基本方針

- (1) 感動のある授業を通して、自ら学び、自ら考え、自ら伝え合う児童を育成する。
- (2) 自他の存在を認め合い、個々が自己有用感を持ち行動する心豊かな児童を育成する。
- (3) 健康や体力の増進に取り組み、元気でたくましい児童を育成する。
- (4) 児童理解を深め、一人一人の自己実現を支援する個に応じた教育活動を行う。
- (5) 地域と連携し、地域のよさを生かし、地域に根ざした教育活動を展開する。
- (6) 一人一人の教職員が個性を生かし、教育目標の具現化に向かって協働して学校教育を推進する。

5 今年度の学校経営の基本方針の重点とその具体化

「挑戦し、感動いっぱい」の三井小学校をめざし、保護者・地域とともに歩む学校づくりを行う

(1) 学力の向上〈自ら考えよく学ぶ子〉

【感動のある授業づくり】

- ① 児童が「やってみたい」と興味・感心を示す授業の導入や課題提示を行い、身につけた知識を活用して、学びへと向かう力を高める。
- ② 教師の関わりや発問により、一人一人が考えを深めていくことのできる授業を追究し、児童の思考力・判断力・表現力を高める。
- ③ 授業に一人一台の端末の効果的な活用場面を取り入れ、学びの質を高め、資質・能力を伸ばす。
- ④ 「感動」ある「主体的・対話的な深い学びのある授業」の実現に向けて、教師一人一人が授業力を向上させる校内研修の充実を図る。

【感動のある授業を支える学習基盤の充実】

- ① 基礎・基本的な学力を確実に身につけさせることで、「感動」ある「主体的・対話的な深い学び」への学習基盤を築く。
- ② 読書体験を充実させることで、語彙の知識、思考、判断、表現、感動の注入や蓄積を図り感性を豊かにする。
- ③ 名文に接する機会を設け、洗練された美しい表現をじっくり味わうと共に、暗唱することを通して自分の語彙に生かし豊かな表現ができるようにする。
- ④ 感動したことを文章等において表現することで、自分の思いや考えを、適切な言葉で伝えることができるようにする。

(2) 豊かな心の育成〈心豊かな子〉

- ① 教育活動全般を通して必ず一人一人に活躍の場を設け、自己有用感を実感させる。
- ② 道徳教育を推進し、「命の尊さ」「粘り強くやり抜くことの大切さ」「思いやり」等を学び、生きていることの素晴らしさ「感動」を通して、自他の存在を大切にできるようにする。
- ③ 互いに尊重し合い、気持ちの良いあいさつ、言葉遣いができるようにする。
- ④ 地域の「ひと・もの・こと」等に学ぶ機会や体験活動を通して、心を耕し、自分の生き方に繋げて考えることができるようにする。

(3) 体力の向上〈たくましい子〉

- ① 家庭と連携した安全教育・健康教育を推進し、心身ともに健康な児童を育成する。
- ② さまざまな行事や各種大会等に積極的に参加し、自身の新たな挑戦心を育み、やり遂げることで生まれる達成感「感動」を味わうことができるようにする。

(4) 安心安全な学校

- ① 児童理解を深め、児童のそばに「真実」があることをとらえ注意深く観察し児童の実態把握に努め、気づいたことを報連相し合える体制をつくる。
- ② 危機管理は、危機を作らないことであることを肝に銘じ、未然に防ぐためのマニュアルを定期的に確認し見直す。

(5) 家庭、地域との連携

- ① 学校、保護者、地域の連携を生かし、より良い学校教育の実現を目指す。
- ② 地域の人材・素材を活用・教材化し、地域の教育力を生かした教育課程を編成し実践する。
- ③ 学校公開、授業参観を定期的に行い、地域に開かれた学校づくりを行う。

(6) 組織力の向上

- ① 若プロ研修でベテランと若手が互いに学び合い、学校力を向上させる。
- ② 事例等を通して、自己管理や服務規律を意識しリーガルマインドを高める。
- ③ 働き方改革を意識し、計画的に効率化に努め推進する。

経営理念

「挑戦し、感動いっぱい」の三井小学校をめざし、保護者・地域とともに歩む学校

今日の教育課題等

輪島市教育方針
石川県教育方針
関係法令等

めざす学校像

- ◇児童一人一人が挑戦し感動を通してはつらつと個性を發揮することのできる学校
- ◇保護者や地域住民が安心して通わせたいと思う学校
- ◇児童や保護者、教職員が愛着と誇りをもてる学校

児童の実態
地域の特色、特性
保護者、地域住民の願

教育目標 『自ら考えよく学ぶ、心豊かでたくましい子の育成』

◇自ら考えよく学ぶ子〈知〉

感動のある授業を通して、自ら学び、自ら考え、自ら伝え合う児童を育成する。

児童理解を深め、一人一人の自己実現を支援する個に応じた教育活動を行う。

学力の向上

【感動のある授業づくり】

- ①児童が「やってみたい」と興味・感心を示す授業の導入や課題提示を行い、身につけた知識を活用して、学びへと向かう力を高める展開を工夫する。
- ②教師の関わりや発問により、一人一人が考えを深めていくことのできる授業を追究し、児童の思考力・判断力・表現力を高める。
- ③授業に一人一台の端末の効果的な活用場面を取り入れ、学びの質を高め、資質・能力を伸ばす。
- ④「感動」ある「主体的・対話的な深い学びのある授業」の実現に向けて、教師一人一人が授業力を向上させる校内研修の充実を図る。

◇心豊かな子〈徳〉

自他の存在を認め合い、個々が自己有用感を持ち行動する心豊かな児童を育成する。

児童理解を深め、一人一人の自己実現を支援する個に応じた教育活動を行う。

豊かな心の育成

- ①教育活動全般を通して必ず一人一人に活躍の場を設け、自己有用感を実感させる。
- ②道徳教育を推進し、「命の尊さ」「粘り強くやり抜くことの大切さ」「思いやり」等を学び、「感動」を通して、自他の存在を大切にできるようにする。
- ③互いに尊重し合い、気持ちの良いあいさつ、言葉遣いができるようにする。
- ④地域の「ひと・もの・こと」等に学ぶ機会や体験活動を通して、心を耕し、自分の生き方に繋げて考えることができるようにする。

◇たくましい子〈体〉

健康や体力の増進に取り組み、元気でたくましい児童を育成する。

児童理解を深め、一人一人の自己実現を支援する個に応じた教育活動を行う。

体力の向上

- ①家庭と連携した安全教育・健康教育を推進し、心身ともに健康な児童を育成する。
- ②さまざまな行事や各種大会等に積極的に参加し、自身の新たな挑戦心を育み、努力しやり遂げることで生まれる達成感「感動」を味わうことができるようにする。

地域と連携し、地域のよさを生かし、地域に根ざした教育活動を展開する。

家庭、地域との連携

- ① 学校、保護者、地域の連携を生かし、より良い学校教育の実現を目指す。
- ② 地域の人材・素材を活用・教材化し、地域の教育力を生かした教育課程を編成し実践する。
- ③ 学校公開、授業参観を定期的に行い、地域に開かれた学校づくりを行う。

一人一人の教職員が個性を生かし、教育目標の具現化に向かって協働して学校教育を推進する。

組織力の向上

- ① 教職員一人一人が学校経営参画意識の高揚を図り、組織的な指導体制を推進する。
- ② 若プロ研修でベテランと若手が互いに学び合い、学校力を向上させる。
- ③ 事例等を通して、自己管理や服務規律を意識しリーガルマインドを高める。
- ④ 働き方改革を意識し、計画的に効率化に努め推進する。

めざす教師像

- ① 教育に情熱をもち、子どもを愛し、子どもと共に伸びる教師
- ② 意欲的に学び合い、自己を磨く教師
- ③ 学校組織の中で自己の役割を自覚し、協働しながら能力を發揮する教師
- ④ 保護者、地域住民から信頼される教師